

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

昭和大学頭頸部腫瘍センターにおける当科の役割と影響一術後在院日数と経口開始日数の調査一

1. 研究の対象および研究対象期間

対象：対象期間中に頭頸部腫瘍センターを初回受診し、頭頸部癌の治療を受けた患者さん

対象期間：2014年10月1日から2015年9月30日および2019年4月1日から2020年3月31日

2. 研究目的・方法

近年、癌発生率は増加傾向にある一方、医療の発展により治療後の生存率は改善され、いわゆる「がんサバイバー」は増加の一途をたどっています。頭頸部癌は他部位の癌と異なり、罹患部位の特殊性から、治療によって、多くの患者が摂食嚥下機能障害をきたします。昭和大学では2014年10月に学部を横断した形で昭和大学頭頸部腫瘍センターが設置され、医学部耳鼻咽喉科学講座と歯学部口腔外科学講座口腔腫瘍外科学部門、歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座口腔リハビリテーション医学部門（口腔リハビリテーション科、以下当科）が連携を取り、それぞれの長所を生かし、短所を補いながら、頭頸部癌患者のQOL向上を目的にチーム医療を実践しています。今回、頭頸部腫瘍センター開設から5年が経過し、当科歯科医師の目線から頭頸部腫瘍センターにおける口腔リハビリテーション科の活動について、対象期間中の患者データから、①介入患者数、②原発部位、③治療内容、④当科介入時期、⑤当科介入内容を調査します。さらに、対象患者のうち、外科処置を行ったT1、T2患者について、2014年群（2014年10月1日～2015年9月30日）、2019年群（2019年4月1日～2020年3月31日）に分け、⑥手術から経口開始日までの日数、⑦手術から退院までの日数について検討します。

本研究は学術研究であり、2014年10月1日から2015年9月30日および2019年4月1日から2020年3月31日の期間に頭頸部腫瘍センターを初回受診し、頭頸部癌の治療を受けた患者データを利用します。患者さんのデータは病院内の診療録管理室にて「3. 研究に用いる試料・情報の種類」に記載した情報を取得します。取得した情報は、本研究者間のみ情報を共有します。

研究期間

医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、病院長の研究実施許可を得てから2020年12月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

①介入患者数、②原発部位、③治療内容、④当科介入時期、⑤当科介入内容を調査します。さらに、対象患者のうち、外科処置を行ったT1、T2患者について、2014年群（2014年10月～2015年9月）、2019年群（2019年4月～2020年3月）に分け、⑥手術から経口開始日までの日数、⑦手術から退院までの日数について調査します。

4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学頭頸部腫瘍センター

氏名：田下 雄一

住所：東京都大田区北千束 2-1-1

電話番号：03-3787-1151 (382)

研究責任者：田下 雄一